

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道3							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
柔道整復学科・昼間部	3年	1・2期	市村 安史				
分野区分		教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門基礎分野		保健医療福祉と柔道整復の理念			実技	1	20
科目概要							
精力善用・自他共栄の考えの基に公正な態度を養い、健康安全に留意するとともに自己の能力を知り、徳性を高める。礼法から、相手を敬うという事を通じ、医療人としての心構えを学ぶ							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道の理念(嘉納師範の遺訓)から柔道を学ぶ目的を学び、柔道整復師と柔道の関係性を理解し、社会に貢献できる柔道整復師の神髄を体得する。						
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 柔道の理念を説明できる。 2. 正しい礼法や受身を習得する。 3. 投の形を習得し実践できる。						
履修に必要な予備知識や技能							
道着の着方・帯の締め方・すり足・継ぎ足・飛び込み前転・倒立前転・作り・道徳心・前回り受け身、投の形、乱							
教科書・参考書							
必要に応じて資料を配布する							
受講上の注意							
ケガの予防に努める事・体調不良時は見学すること・身だしなみに気を付ける事・投技等を行う際は真剣に行							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ形式)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	授業の進め方の説明と二年度の復習				柔道着		
第2回	礼法(立礼)				柔道着		
第3回	礼法(坐礼)				柔道着		
第4回	前方回転受け身				柔道着		
第5回	受身・投技の練習				柔道着		
第6回	受身・投技の練習・乱取				柔道着		
第7回	固め技の練習・乱取				柔道着		
第8回	投の形 腰技 浮腰①				柔道着		
第9回	投の形 腰技 浮腰②				柔道着		
第10回	投の形 手技 背負投①				柔道着		
第11回	投の形 手技 背負投②				柔道着		
第12回	投の形 腰技 払腰①				柔道着		
第13回	投の形 腰技 払腰②				柔道着		
第14回	投の形 足技 支釣込足①				柔道着		
第15回	投の形 足技 支釣込足②				柔道着		
第16回	投の形 浮腰・背負投の復習				柔道着		
第17回	投の形 払腰・支釣込足の復習				柔道着		
第18回	前期のまとめ定期実技試験の進行説明				柔道着		
第19回	前期定期実技試験				柔道着		
第20回	前期試験解説授業・補習				柔道着		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
ichimura-t@nihonisen.ac.jp							